

## 「実務経験のある教員による科目の配置状況」の実態把握について

- 実務経験のある教員による科目の配置状況については、「高等教育段階の負担軽減方策の検討のための実態把握について（事務連絡）」において把握することとしていた。
- ただし、大学等においては実務経験のある教員の科目という観点では通常把握していない中で、大学の回収率は、部分回答を含め約6割であり、その内容としては、大学等の事務局において人事記録等により把握できる範囲での回答が大勢であった。このため、例えば、
  - ・ 非常勤講師の状況が含まれていないケースがある
  - ・ 「実務経験のある教員による科目」について、実務経験歴が確認できれば、授業への活かし方の程度にかかわらず報告されているものが多くあると考えられる
  - ・ 博士課程修了後の公的機関等における研究者の経験の扱いが区々である（当該経験を実務経験に含めるか否か）といった点から大学等により数値の違いの幅が大きくなっている。
- このようなことから、実務経験のある教員による科目の配置状況について、全体を機械的に整理したものを示すことは困難な状況にある。

### <「実務経験のある教員による科目の配置状況」に関する回答状況>

国立大学（82校）：70%、公立大学（87校）：53%、私立大学（195校）：44%、公立短大（15校）：47%、私立短大（34校）：53%、高等専門学校（57校）：98%、国立専門学校（9校）：100%、公立専門学校（172校）：93%、私立専門学校（603校）：83%

（注1）カッコ内は対象校数。割合は実態把握対象校における回答率。

（注2）H30.4.11現在。いずれも部分回答やデータ上の不備等がある場合を含む。